

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	児童デイサービス すてーじ西条南				公表日	令和8年1月20日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100		利用定員と活動内容を基準に、子ども達が快適に過ごせるスペースを確保しております。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	100		配置基準に沿った職員配置を行っております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100		事業所内の段差、ドアの開閉等子ども達が安心して利用できるように、更に改善すべき箇所がないか気を付けております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100		毎日のミーティングや社内の研修会などで、見直しや話し合いをしております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100		保護者の方にアンケートを実施し、その結果を後の業務改善に反映させております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100		苦情解決についての第三者評価を設けております。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100		事業所外での研修や講演会の参加、事業所内研修も実施して職員のスキルアップに努めております。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100		H P に公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100		利用開始前やご利用期間中、適切にアセスメントを行いお子様や保護者様のニーズや課題を把握し、放課後デイサービス計画作成に努めます。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	87	13		ミーティングやケース会議にて情報共有を行っていますが、議事録等で周知できるようにしていきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	87	13	事業所内で作成したアセスメントシートを使用しています。	ミーティングやケース会議にて情報共有を行っていますが、議事録等で周知できるようにしていきます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100		子ども達が多様な活動ができるように、チームで活動プログラムを決めております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100		季節の行事や、子ども達のニーズに合った、楽しめる活動を考えて実施しております。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100		一人ひとりに応じた課題や、集団での活動を取り入れて支援計画を作成しております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100		毎日のミーティングを通して、職員同士で情報共有を行っております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100		毎日のミーティングは必ず実施し、子ども達の様子や支援内容について振り返りを行い、記録して職員全員で共有するようにしております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100		記録をもとに、支援の検証、改善に繋げております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	87	13	定期的にモニタリングを行い、保護者様との振り返りを実施して、見直しをしております。	ミーティングやケース会議にて情報共有を行っていますが、議事録等で周知できるようにしていきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100		アセスメントをもとに、ガイドラインの総則の基本活動を組み合わせ、長期目標と短期目標を設定して支援計画を作成しております。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100				
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100		療育現場で最も関わりが深く関係が来ている職員が参画しております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100		保護者様、学校と情報共有しており、送迎時に学校の先生から予定について連絡を頂く事もあります。問題発生時だけではなく、平日頃からの連携を強化したいと考えております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	62	38	日頃より、各関係機関の関係者や情報共有できる体制を整えております。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100		今後、そのような機会があれば情報共有していきたいと考えております。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	50	50	研修会や講演会に参加する機会を設けております。また、担当の方と意見交換することがあります。	研修後の受講報告書やミーティングにて、情報を共有していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		100	放課後児童クラブや児童館との交流を行える体制になく実施しておりません。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100		自立支援協議会（療育部会）、放課後等デイサービス連絡会に参加しております。参加できない時は、議事録にて内容を確認しております。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100		毎日の連絡帳や、送迎時の情報交換を通して、また、定期的に面談を実施し、相互信頼、理解出来るよう努めております。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		100	職員全員がペアレントトレーニング島の支援が出来るよう、研修への参加、勉強会を行える体制作りを努めております。	
関	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100		契約時に丁寧な説明を行っており、また、事業所内に運営規定等を提示して周知徹底に努めております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100		速やかに対応するように努力しており、相談内容によって、専門の職員が対応しております。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		100	保護者会等は現在実施できておりません。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100		そのような事案が発生した時には速やかに対応しております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100		定期的に通信を発行し、活動の様子などはお伝えしております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100		書類は鍵付きの保管場所、写真をSNS等に公開する場合は、あらかじめ保護者の許可を得て、掲載しております。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100		正確かつ、わかりやすくお伝えできるように工夫、努力しております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		100	保護者様のご意見を伺いながら、地域の方々との交流が図れる機会を作れるように努力していきたいと思っております。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100		各種マニュアルを作成し、職員は周知しておりますが、保護者様への周知徹底を進めてまいります。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	62	38	災害時・感染対策についてマニュアルを作成しております。避難訓練マニュアルに沿って、年2回実施しております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100		常時、保護者様と子ども様の情報を共有しております。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100		保護者様の情報に基づき個別に献立を用意しており、状況によってご自身で用意していただいております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100		安全委員会を中心に危険な箇所がないか確認しています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	62	38	毎日のミーティングで必ず前日の活動について話し合い、気になる事例は記録して職員全員が内容、対処、改善の情報を共有しております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	87	13	虐待防止委員会を中心にチェックリストで自己の振り返りをしています。年1回外部より講師を招いて研修を行っております。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100		現在、身体拘束を行う対象児童がいいため、支援計画に記載はありません。		